

食支援からつながる 地域の相談コミュニティ

独立行政法人福祉医療機構（WAM）が行う社会福祉振興助成事業（WAM助成）は、国庫補助金や寄付金を財源とし、高齢者・障害者などが地域のつながりのなかで自立した生活を送れるよう、NPOやボランティア団体などが行う民間の創意工夫ある活動などに対し、助成を行っています。

今号では、WAM助成を活用した認定NPO法人フリースペースたまりばの取り組みを紹介합니다。

こども・若者が 安心して過ごせる居場所づくり

神奈川県川崎市にある認定NPO法人フリースペースたまりば（理事長：西野博之氏）は、平成3年に学校や家庭、地域のなかに自分の居場所を見い出せないこども・若者が集う「学校外の育ちと学び場」として活動を開始した。さまざまな家庭、背景をもつこども・若者が安心して過ごせる居場所をつくり、自己肯定感を取り戻す人間関係を育む環境と文化を創造することに取り組んでいる。平成15年にNPO法人化し、平成30年に認定NPOの認可

を受けている。

主な事業として、平成15年に川崎市が子ども権利条約の具現化を目指して開設した「川崎市子ども夢パーク」内に、年齢や国籍、経済状況、障害の有無に関わらず、さまざまな背景をもつこども・若者が集う「フリースペースえん」を運営。平成18年からは川崎市生涯学習財団とともに、指定管理者として施設全体の管理・運営を行っている。

そのほかにも、川崎市若者就労・生活自立支援センター「ブリュッケ」、川崎市ひきこもり等児童福祉対策事業を受託しており、令和2年にはコミュニティスペース「えんくる」を開設し、フードパントリーをはじめ、地域の誰もが利用できる「えんくるカフェ」や多世代型地域食堂「えんくる食堂」、こどもたちの放課後の居場所「こども☆きつき」などを運営している。

「えんくる」の開設経緯について、理事・事務局長の鈴木晶子氏は次のように説明する。「当法人は、居場所づくりを実践するなかで、『子どもたちと一緒につくり、食べる』ことを大事にしてきました。そのようななか、コロナ禍で利用者から食に関するSOSが寄

WAMから ひと言

健康格差をなくすことを目的とした生鮮食品の入荷に力を入れたフードパントリーの運営や、家庭で調理して親子が一緒に食べる経験をしてもらうための時短節約料理教室の開催は、支援対象者のライフスタイルに合ったものであり、対象者に寄り添った活動をしていることがうかがえます。また、そのような支援を実現させた企業や地域の農家、専門家、行政等、幅広いネットワークを構築していることは大きく評価できます。今後も食料支援を通じた相談支援や地域資源につなぐことで、誰もが安心して過ごせる社会づくりに寄与されることを期待します。

支援の届きにくいこどもの 育ちを支える

同法人は、令和4年度のWAM助成を活用し、「支援の届きにくい人々たちへの新たな食支援の構築と相談支援事業」を実施した。

同事業は、コミュニティスペース「えんくる」を拠点に、多様な課題を抱えながら支援につながりにくいこどもたちが安心して育ち、生活できるようになることを目的に、①家庭で作って食べる「食支援2・0モデルの構築」、②食支援から始まる相談支援事業を行った。「えんくる」は、地域の誰もが利用できる居場所として浸透し、フードパントリーの利



用者・食料配布量は開設1年間で10倍に増えていました。その一方で、生鮮食品の寄贈は限定的で、食支援を通じて健康格差が生じてしまうのではないかとという疑問と、家庭で調理して親子と一緒に食べる経験をしてもらいたいという想いがありました。そのため、助成事業では生鮮食品の入荷に力を入れた常設のフードパントリーを運営し、こどもの育ちを支援することに取り組みました。同時に、フードパントリーや地域食堂の利用者は経済的困窮や孤立しているケースが多く、公的制



コミュニティスペース「えんくる」は、食を通じた居場所と地域づくりの拠点として、フードパントリーやカフェ、多世代型地域食堂、こどもの放課後の居場所などを運営

く、出来合いの総菜を購入することで家計が圧迫されていることから、フードパントリーで提供する食材を使用した時短・節約料理教室を開催することにより、自宅での調理を支え、健康格差の連鎖を断ち切ることを目指した。

新たな食支援モデルの構築

新たな食支援の体制では、生鮮食品の入荷

に力を入れるため、大型冷蔵冷凍庫を備えた常設のフードパントリーを週4日開所し、登録・審査なしで誰もが利用できる敷居の低いフードパントリーとして運営した。さらに、インセンティブとして優先的に食料を確保するという定期利用登録制度をつくり、登録時に家族構成や暮らしの状況等を聞きとるとともに、常駐スタッフが利用者と継続的に関わりながら家庭の状況を把握することにより、必要な食料の提供を行った。食料の提供方法について、コミュニティス

令和4年度事業

認定NPO法人フリースペースたまりば

支援の届きにくい人たちへの新たな食支援の構築と相談支援事業



WAM 助成
e-ライブラリー

事業概要

助成額
700万円

【事業概要】

支援につながりにくい子どもと親たちが、地域で安心して生活できることを目的に、家庭での調理を支える新たな食支援モデルを実践し、支援を通じて構築した信頼関係をもとに相談支援につなげる事業



【実施内容】

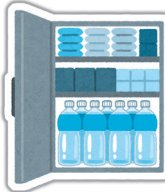
- ◆家庭で作って食べる食支援 2.0 モデルの構築
生鮮食品の入荷に力を入れた常設のフードパントリーを運営するとともに、ひとり親やその家族向けの時短・節約料理教室を開催



- ◆食支援から始まる相談支援事業
食支援を通じて構築した信頼関係をもとに、多様な課題を抱えながら支援につながりにくい住民の相談支援を実施

【成果】

- ◆計195日開所したフードパントリーの利用実績は、年間延べ利用人数は2009人、食料配布量は8.5トン（月平均708kg）にのぼった。
食料の調達では、企業や関係団体とのネットワークの開拓・強化により、野菜や肉、魚、冷凍食品など、多様な食料の提供を受ける体制を構築することができた
- ◆年間5回開催した時短・節約料理教室は、延べ33人のひとり親やその家族が参加した。フードパントリーで提供する食料を使用した時短・節約レシピを伝えることにより、自宅での調理や家計を支えることにつながった
- ◆相談支援事業は、年間103日稼働し、200件を超える相談対応を行った。居場所に配置した専門職（精神保健福祉士、臨床心理士）による来所時の相談対応やLINE相談、訪問支援のほか、行政や専門機関、医療機関への同行支援を実施した
- ◆フードパントリーの利用者と食料配布量が大幅に増加するとともに、福祉事務所や社会福祉協議会など多岐にわたる紹介元が増えたことで、困難を抱える世帯に確実にリーチすることが可能となった



ペース「えんくる」事業統括の菊地真紀子氏は次のように説明する。

「基本的には、えんくるの入り口にフードパントリーのスペースを設け、来所した利用者に必要な食料を持ち帰ってもらうかたちとしています。利用者に対しては、公式LINEを用いてタイムリーに入荷情報を提供しており、暮らしの状況を把握しておくことで、例えば自宅に炊飯器がない方にはアルファ米を用意したり、ひとり親を対象にしたイベントを案内するなど、利用者の状況に応じた個別の情報提供を行っています」。

食料の確保にあたっては、関係団体や企業



フードパントリーにある食料を活用した節約・時短料理教室の様子



フードパントリーには大型冷蔵冷凍庫を備え、生鮮食品の入荷に力を入れた



コミュニティスペース
えんくる 事業統括

菊地 真紀子氏



企業や関係団体とのネットワークの開拓・強化により、生鮮食品を含め、多様な食料の寄贈を受けた



とのネットワークを開拓・強化することにより、食料の提供を受ける体制を強化した。関係団体との連携では、市内のこども食堂の運営をサポートする「かわさきこども食堂ネットワーク」をはじめ、フードバンク活動を行う「かわさき生活クラブ生活協同組合」、「セカンドリーグ神奈川」と定期的に情報交換を行いながら、食料の寄贈を受けた。

さらに、フードドライブを行う企業や地元農家、水産加工業者などつながり、食料を確保するルートを広げたほか、令和4年度はこども家庭庁のひとり親を対象にした食料支援の補助金を活用したことにより、生鮮食品を含めた多くの食料を確保することができた。連携団体から静岡県熱海市でこども食堂の応援をしている水産加工業者を紹介してもらい、規格外で市場に流通しない未活用魚や干物の定期的な寄贈を受けているという。

「食料支援は基本的にボランティア活動になるため、配送にかかるコストと人材が課題になります。とくに消費期限の短い生鮮食品は取扱いが難しいのですが、大型冷蔵冷凍庫を備えていることや、助成事業で配送スタッフを配置できたことで、大量の寄贈をいただいた際にも対応することができました。また、食料を確保するためには、寄贈いただいた食料を無駄にしないことが大切です。寄贈先にはどのように活用して、役に立っているのかをしっかりとフィードバックすることで信頼関係が生まれ、継続的に寄贈していただくことにつながっています」（鈴木氏）。

令和4年度のフードパントリーの利用実績は、延べ2009人が利用し、年間の食料配布量は8・5トンに達した。食料を必要とする多くの人たちにに対し、入荷に力を入れた生鮮食品を含め、多様な食料を提供することができたという。

料理教室を開催し 自宅での調理を支える

自宅での調理を支えることを目的とした時短・節約料理教室は計5回開催し、ひとり親家庭の親子を中心に延べ33人が参加した。

料理教室では、クックパッド株式会社社員の協力のもと、寄贈が集まりやすく余りがちな麺つゆ、ケチャップ、味噌、ホットケーキミックスを活用した時短レシピのほか、フードパントリーにある食料を用いたクリスマスメニューのレシピを開発してもらい、参加者と一緒に調理して食事を楽しんだ。



この著作物は著作権法、国際条約およびその他の知的財産権に関する法律や条約によって保護されています。版權者（独立行政法人福祉医療機構）ならびに著作権者の許可を得ない複製（コピー）、再配布を、固くお断わりいたします。



「料理教室は、親子での参加のほか、こどもやきょうだい児だけで参加することもあり、毎回好評でした。参加した母親からは『野菜の切り方から調理まで教えてくれて、こどもが家で料理をつくってくれるようになった』、『親子の会話が少なかったが、料理をきっかけに会話が aumentata』などの声をいただいています。また、紹介するレシピはすべてフードパントリーにある食材を使っているため、終了後に参加者に持ち帰ってもらうことで、寄贈された食材を余すことなく活用することにもつながっています」（菊地氏）。

**来所時の相談対応とともに
訪問、同行支援を実施**

相談支援事業では、フードパントリーや居場所の利用時に信頼関係を築き、SOSをキヤッチする日常的な関わりを行うとともに、設置した相談室での個別相談を組みあわせて、相談につながりにくい人々への相談支援を行った。

相談支援の体制では、えんくるのスタッフが常時対応するほか、精神保健福祉士、臨床心理士の資格を有するスタッフを定期的に配置した。来所時の相談対応にとどまらず、来所が困難なひとり親や若者へのLINEを活用した相談対応や自宅への訪問、生活保護の受給申請や医療機関への受診、債務整理のための弁護士事務所などへの同行支援を行った。

相談支援事業の支援実績は、年間103日稼働し、約200件の相談対応を実施した。



全世代が暮らしやすい地域づくり

認定 NPO 法人フリースペースたまりば
事務局長・理事 鈴木 晶子氏



助成事業では新たな食支援モデルの構築に取り組みましたが、食支援は生活困窮世帯だけでなく、多様な課題を抱える人々とつながれることをあらためて実感しています。

事業の波及効果としては、報告会を兼ねて開催した「まちづくりワークショップ」をきっかけに、

協働した関係団体とともに、令和5年4月に任意団体「かわさきくらしやすい地域をつくる会」を立ち上げました。各団体が互いに支えあいながら地域の困りごとを共有し、地域住民に向けて社会資源を周知することで、全世代が暮らしやすい地域をつくることに取り組んでいます。

◆団体概要

〒211-0044 神奈川県川崎市中原区新城2-4-1
セシーズイシイ2 401号室

TEL: 044-789-9812

URL: <https://www.tamariba.org/>

設立: 平成3年4月

理事長: 西野 博之

困難を抱える世帯にリーチ

さらに、予約制の「相談カフェ」を毎月実施し、より深刻な相談に対して個別対応を行っている。

助成事業の成果として、新たな食支援モデルを構築し、支援の届きにくい人への食料支援、相談支援につなげることができた。

「福祉事務所や社会福祉協議会、福祉施設、民間団体など多岐にわたる紹介元が増え、実際に困難を抱える世帯にリーチできるようになり、地域福祉の選択肢を増やすことにつながっています。その一方で、令和4年度事業ではこどもとその家族を支援対象としていましたが、40〜50代の単身者、高齢世帯など多様な人々が食料支援を求めて来所されました」

た。とくに、単身者の孤立は深刻で、地域につながぎ先がないことが課題としてみえてきました。そのため、助成事業の終了後は支援対象を孤立した生活困窮者等に広げていきますが、支援の整備について地域全体で考えていかななくてはならないと考えています」（鈴木氏）。

新たな食支援を通じて相談支援や地域資源になぎ、安心して生活することを支える同法人の今後の活動の広がりが期待される。



社会福祉振興助成事業に関するお問い合わせ

●NPO リソースセンター

NPO 支援課（助成事業の相談・募集、NPO の融資相談等）

TEL : 03-3438-4756 FAX : 03-3438-0218 (共通)

NPO 振興課（助成事業の広報、事業評価等）

TEL : 03-3438-9942 FAX : 03-3438-0218 (共通)

NPO等の民間福祉活動への
応援よろしくをお願いします！

当機構では
寄付金を募集
しています



お問合せ先: 03-3438-0211 (総務部総務課)

